

夏でも収穫できるワケギ新品種

～新品種「広島12号」、「広島13号」の夏季栽培特性～

連携機関 | JA全農ひろしま, JA尾道市, JA三原市
研究期間 | 平成18～24年度 [受託研究]



研究開発のきっかけ

- ◆ 広島県は日本一のワケギ産地です。
- ◆ 県東部を中心に周年で栽培されていますが、夏のワケギは、栽培が難しく、品質も低下します。
- ◆ このため、夏でも栽培が容易で高品質なワケギ品種の育成が産地から要望されていました。

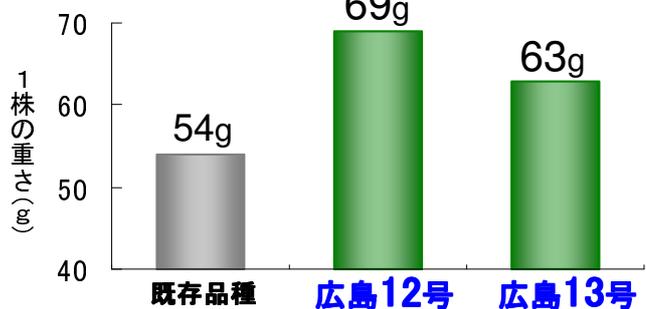
研究成果の概要

- ◆ 夏季に栽培しても高品質なワケギの新品種「広島12号」と「広島13号」を育成しました。
(2011年品種登録出願No.26904とNo.26905)
- ◆ 両品種とも、高温時も芽が出やすく、生育も早いため、3～4週間で収穫できます(既存品種は4～6週間)。
- ◆ また、どちらも収穫量が多く、夏ワケギの欠点である株元のふくらみも少なく、品質面も良い品種です。
- ◆ 食味は既存の良食味ワケギと同等です。



既存品種 広島12号 広島13号

■ 収穫量アップ！



■ 株元のふくらみ少なく、品質アップ！



既存品種 広島12号 広島13号

研究成果の活用状況

- ◆ 両品種は、品種登録出願後、2012年6月にJA全農ひろしまと広島県登録種苗通常利用権許諾契約を締結し、栽培が可能となりました。
- ◆ 現在は種球を増殖中で、JA尾道市とJA三原市管内にて、2015年から普及予定です。
- ◆ 生産者圃場において、普及に向けた栽培試験を実施しています。